

小 牧 連 携 だ よ り



目次

◆連携ニュース◆

- 地域医療ネットワークシステム参加医療機関募集のお知らせ・・・P 2
- 紹介専用予約枠を増設しました・・・・・・・・・・・・・・・・・・P 4
- 社会保険労務士によるがん就労相談を始めました・・・・・・・・P 4
- 新規採用職員紹介・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P 5
- 認定看護師活動紹介・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P 6

◆連携トピックス◆

- 地域連携室の取り組みについて・・・・・・・・・・・・・・・・・・P 8

【 地域連携室 業務内容 】

- | | |
|----------------------|-----------------------------|
| 1. 地域の医療機関との連携に関すること | 6. 訪問看護に関すること |
| 2. 退院支援に関すること | 7. 医療情報の提供（カルテ開示）に関する
こと |
| 3. 医療サービスの向上に関すること | 8. その他（地域連携関連業務全般） |
| 4. がん相談支援に関すること | |
| 5. 医療福祉相談に関すること | |

【 受付時間 】

平日 8：30～19：00
土曜 9：00～12：00

TEL 0568-76-1434
FAX 0568-74-4516

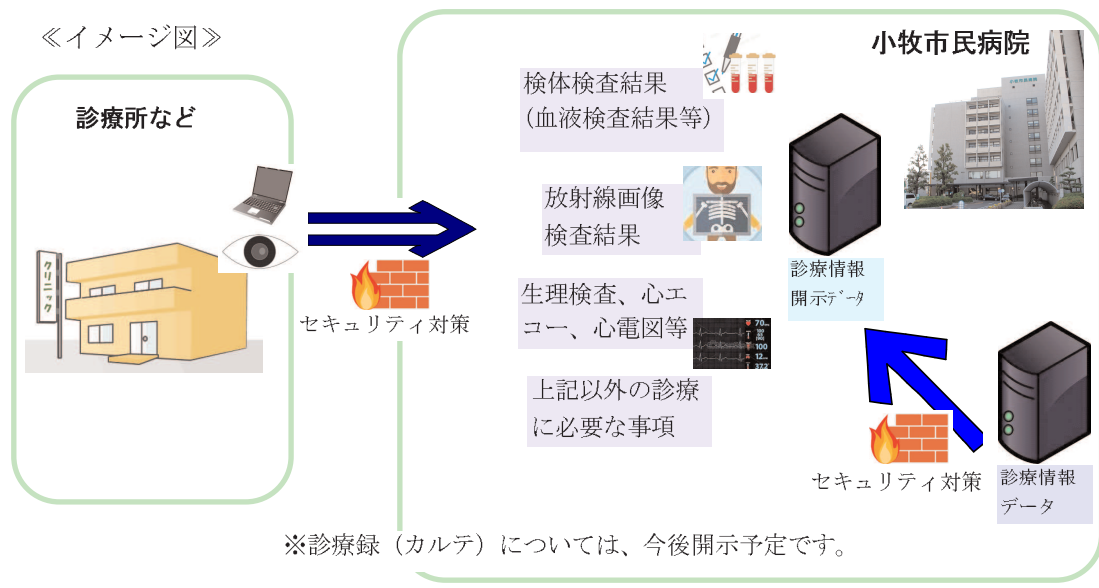


地域医療ネットワークシステム参加医療機関募集のお知らせ

「地域医療ネットワークシステム」の本格的な稼働を開始いたしました。

小牧市民病院地域医療ネットワークは、患者さんの同意に基づき、市民病院の血液検査、レントゲン検査結果など、かかりつけ医において必要な情報が閲覧出来るシステムです。

《イメージ図》



「万全のセキュリティ対策！」

SSL-VPN

+

ワンタイムパスワード



《ワンタイムパスワードトークン》

仮想専用回線で暗号化したデータを送受信することに加え、一定時間ごとに自動的に新しいパスワードが付与されるセキュリティシステムを採用しており、安全性も万全です。

「開示している診療情報」

- ・ 検体検査結果
- ・ 細菌検査結果
- ・ 放射線画像検査結果
- ・ 生理検査

(心エコー、心電図)
※開示情報については、順次拡大していく予定です。

地域医療ネットワークシステム 利用医療機関のメリット

- ◎「診療情報提供書」に記載しきれない画像データや検査結果を確認、比較することで、より質の高い診療が可能となります。
- ◎紹介患者のデータを、ほぼリアルタイムに確認が可能のため、市民病院での診療の経過を把握出来るようになります。
- ◎救急外来受診時の検査結果、画像情報を確認することで、経過観察・診断にお役立ていただけます。
※個別の同意書の提出が必要となります。
- ◎「診療情報提供書」による逆紹介患者について、ネットワークを利用して情報を閲覧し、診療に活用した場合に「電子診療情報評価料30点」の算定が可能です。
※施設基準の申請が必要です。

The screenshot displays the ModLine system interface. At the top, there is a navigation bar with 'ModLine 紹介患者・メンテナンス+'. Below this is a patient information section with fields for '患者ID', '患者名', '生年月日', '性別', '住所', and '電話番号'. A '戻る' button is visible. The main area features a '診療カレンダー' (Medical Calendar) for the year 2016, with dates from 16/06/29 to 16/08/26. A red circle highlights the '検査項目' (Exam Items) column, which includes '検査項目', '結果', '心エコー', and 'レントゲン'. A red dashed box highlights a specific date, 16/08/05, with a red arrow pointing to a 'レントゲン' (X-ray) icon. Below the calendar, a red arrow points to a '確認したいデータのアイコンをクリックして、データを展開！' (Click the icon of the data you want to check and expand the data!). Another red arrow points to a '放射線画像結果' (X-ray image result) thumbnail. A third red arrow points to a '検体検査結果' (Specimen test result) thumbnail. Text on the right side of the screenshot reads: '時系列表示だけでなく、必要な検査項目のみ選択して表示することも可能！' (Not only time-series display, but it is also possible to select and display only the necessary examination items!).

インターネットの利用できる端末をご準備いただくだけで、ご利用可能です。利用料も不要です。

お気軽に地域連携室までご連絡ください！
登録医の先生方の積極的なご参加をお待ちしております！！

紹介専用予約枠を増設しました！

「予約が混み合っていて取りにくい」、「予約時に電話で長く待たされる」などのご意見に対応するため、紹介専用予約枠を増設しました。予約取得がスムーズになっておりますので、ご紹介の際には地域連携室にて診察の予約をお取りいただきます様、よろしくお願いいたします。



【予約専用（年間）枠】

変更前 約13,000枠 → 変更後 約22,500枠

※緊急に診察が必要であるとご判断された場合は、この限りではありません。

お電話にて直接専門科へご相談ください。

※ご不明な点がございましたら、お気軽に地域連携室までご連絡ください。

平日 8:30~19:00 土曜 9:00~12:00 電話 0568-76-1434

社会保険労務士によるがん就労相談を始めました！

社会保険労務士が社会保険制度の観点から「がん治療」と「仕事」の両立が図れるよう、患者さんと一緒に考える「がん就労相談」を始めました。内容に応じて適切な相談機関等もご紹介させていただきます。

相談会は、愛知県社会保険労務士会との連携により行っており、地域で事務所を構える社会保険労務士に出張していただいています。

社会保険労務士 久保田 和美

社会保険労務士って何？と言われてますが、人の採用から退職までの人事全般の相談や会社の就業規則の作成、年金相談など主に中小企業の労働、社会保険に関することを行っています。

医学の進歩で、がん治療は仕事との両立が可能になっております。しかし、実際は職場関係者には十分に理解されておらず、会社を辞めさせられたり、再就職先に病名を伝えなければならないのか等、様々な不安を抱えております。その不安を解消するために利用出来る制度のご紹介を行い、解決の糸口になるような支援が出来ればと思っております。



- 日時
毎月第2木曜日
- 料金
無料
- 申込み
・事前予約制
・先着順3人まで
・がん相談支援センターまで
- 電話
76-4131

新人医療ソーシャルワーカーを紹介します！



医療ソーシャルワーカー 土屋 智裕

ソーシャルワーカーとしても社会人としても新人である自分にとって、この半年間は覚えなければならぬことの連続でした。特に窓口での対応や電話対応などは、今まであまり経験したことがなかったので非常に苦労しました。

それでも地域連携室の皆様やソーシャルワーカーの先輩方にご指導・ご指摘をいただき、少しずつではありますが日々成長できているのではないかと感じています。

趣味は、高校・大学と7年間やっていた弓道です。就職してからも頻度は減りましたが、休みの日を使って弓を引きにいらしています。実は弓道は皆さんが思っている以上に疲れる競技です。練習頻度が減った最近では少し弓を引くだけで心身ともに疲弊してしまっていますが、的中したときの感覚はすべての疲れやストレスが吹き飛ぶくらいの快感があります。

未だに仕事で壁にぶち当たることが多くありますが、乗り越えて成長ができるように精一杯の努力をしていきたいと思っていますのでよろしくお願いいたします。



医療ソーシャルワーカー 音琴 隆宏

地域連携室の一員となってから数ヶ月経ち、ソーシャルワーカーとしての業務はとても奥が深く毎日勉強になることばかりです。現在は連携室の窓口対応と医療費のご相談にのっております。窓口にお越しの際はよくみかけることがあると思いますのでよろしくお願いいたします。

「ねごと」という名字は初めて聞く方がほとんどだと思います。よく「おとことさん？」などと間違われることが多く、自己紹介のたびに訂正をしないといけません。ただ、「綺麗な名前ですね」や「音楽一家なんですか？」などと話の話題にもなるので、音琴という名字はまあまあ気に入っています。

私自身の話にはなるのですが出身地は長崎県佐世保市です。佐世保市には多くのオススメしたい食べ物があります。なんといっても佐世保バーガーは絶品です。道を歩けば至るところにハンバーガーショップが建ち並び、ハンバーガー専用パンフレットまで無料で駅前に置いてあるぐらいです。その他にも皿うどんやカステラなど美味しい食べ物がたくさんあるので、一度行ってみてはいかがでしょうか。このような私ですが、今後とも一職員として小牧市民病院に貢献できるよう日々努力したいと思いますのでよろしくお願いいたします。

当院認定看護師の活動の一部を紹介します！



慢性呼吸器疾患看護認定看護師 堀 英孝

「慢性呼吸器疾患看護認定看護師 (Chronic Respiratory Nursing Certified Nurse)」とは、2016年1月現在、全国に21分野、約17,500人の認定看護師が存在する中、約240人しか活動していない発足したばかりのまだまだ知名度の低い分野です。

活動の対象となる方々は、COPDや間質性肺炎、気管支喘息などの慢性的に症状が持続する患者さんが中心となります。この対象となる慢性呼吸器疾患患者さんの大半が、長い時間をかけ病みの軌跡を辿りながら多種多様に変化していきます。

この多種多様に变化する病を患者さんが受け止め、病みの局面に折り合いをつけながら、その人らしい生活が維持されることが重要となります。このためには、呼吸困難時のセルフコントロールや、病状・病期に合わせた日常生活動作の提案、呼吸器機能の評価と呼吸管理、増悪予防など患者さん一人一人に合わせたオーダーメイドな支援が必要です。

このような支持的支援の更なる充実を図るため、2016年6月より新規HOT（在宅酸素療法）導入患者様を対象に在宅療養の質の維持と向上を目指しHOT外来（呼吸器専門外来）を開設し活動させていただいています。

慢性呼吸器疾患患者さんにとって外来とは、医療者との関わりを中心であり、アドヒアランスの維持・向上に大きな影響を与える場となっています。さらに患者さんや家族が抱える在宅療養での悩みや疑問への対応や増悪を早期に発見し、医師とともに対処するための重要な場所といえます。

在宅呼吸ケア白書によると、「療養生活についてもっと知りたい」といった結果も出ており、項目別では、「息切れの管理に関する指導」が上位を占めていました。このような患者さんのニーズに対してHOT外来を通し、患者さんがその人らしい生き方で在宅療養が維持されるよう、医師・看護師・多メディカルスタッフと共に、これからも努力し続けたいと考えています。

さらに、質の高い地域医療環境を維持するためには、変化し続ける患者さんを取り巻く環境への対応が必要であり、地域医療を担う先生方とのネットワークが必須であると考えています。今後ともよろしく願いいたします。





脳卒中リハビリテーション看護認定看護師 杉本 篤史

高齢化が進む日本において、2025年には認知症の人は700万人前後となることが想定されています。急性期病院においては、原因となる疾患への対応が優先されることが多く、入院を契機に認知症症状が急速に悪化してしまうことが少なくありません。また、「病院」という、日常生活からかけ離れた環境の中で生活を過ごすことで、高齢者を中心に「せん妄」を発症することがあります。そのため急性期病院の医療スタッフは、「認知症」や「せん妄」への対応力の向上が求められています。

認知症は、一度獲得された知的機能が何らかの原因によって低下し、日常生活で支障をきたす状態をいいます。認知症は、経験した出来事の一部を忘れる「もの忘れ」とは違い、経験したことそのものを忘れてしまい、その症状は徐々に進行します。主な症状として、「新しいことを覚えられない」、「『いつ、どこ、だれ』が分からなくなる」、「物の名前が出てこない」などの中核症状と、「気持ちが落ち込んでやる気がない」、「イライラしやすい」、「物を盗まれたという」、「大きな声をあげる 手をあげようとする」、「いない人の声が聞こえる」などの周辺症状があります。せん妄は、「そわそわして落ち着きがない」、「ちょっとしたことに怒り出す」、「夜眠れない」などの症状が急激に見られるようになり、1日の中で、その症状は変化します。痛み、便秘、ベッド上での安静を強いられることで、せん妄の症状は増強してしまいます。認知症と違い、せん妄は時間の経過とともに改善します。



当院では、2016年10月より、認知症ケア加算2が開始されました。加算開始に向けた取り組みをご紹介します。

1. 看護師の知識と対応能力向上に向けた取り組み

- ・全ての病棟において、認知症やせん妄に関する研修を受講した看護師が配置されています。
- ・認知症・せん妄対応マニュアルを作成し、患者対応に困った際に参考にできるように、病棟に配置しています。
- ・研修に参加した看護師を中心に認知症チームを立ち上げ、患者対応について検討会を行っています。
- ・一部の病棟で、せん妄スクリーニング検査を導入し、せん妄患者に対して適切な対応が行えるようにしています。

2. 今後の取り組みについて

医師、認知症認定看護師などによる多職種チームを立ち上げ、個々の患者さんに対して適切な対応が実践できるように活動していきます。

地域連携トピックス

平成28年 4月28日

第3回小牧市民病院地域医療支援委員会及び意見交換会

委員会では、平成28年度新委員の紹介の後、「広報やホームページを見ていない市民への当院の役割等の周知方法」についての検討内容を報告しました。また、選定療養費改定の趣旨を説明しました。

引き続き行われた意見交換会では、地域医療ネットワークシステムについてのご意見を多数いただき、事務局として参加者の関心の高さを知る機会となりました。

5月26日

第203回尾張臨床懇話会

喘息予防・管理のガイドラインの改訂点や、COPDについての米国や欧州の重症度の紹介の他、当院での吸入薬の現状と今後の展望についてを説明させていただきました。

○尾張臨床懇話会
講演 COPDと
気管支喘息の治療
～最近の吸入薬～
講師 高田 和外（呼吸器内科部長）
参加人数 10人

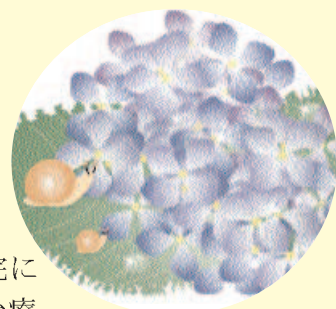


6月23日

第204回尾張臨床懇話会

腎癌の特徴や当院での腎部分切除術における実質クランプ法や分子標的薬治療についてを説明させていただきました。

○尾張臨床懇話会
講演 小牧市民病院に
おける腎癌治療
について
～外科的治療を中心に～
講師 上平 修（移植センター部長）
参加人数 7人



7月2日

平成28年度小牧市民病院地域連携登録医総会

地域連携の取り組みとして、地域の先生方から紹介しやすい環境を整備するため、FAXの増設や紹介予約専用枠を増やす準備を進めていることを報告しました。また、地域医療連携ネットワークシステムの運用状況や地域医療支援委員会、意見交換会、尾張臨床懇話会の開催状況等についてを報告しました。

その後の交流タイムは、開業医の皆様との親交を深める場となりました。

交流タイム後は、地域医療ネットワークシステムについてのご案内をさせていただきました。

特別講演では、地域連携室小島室長を座長とし、糖尿病内分泌内科部長上西栄太医師から、「糖尿病治療のオーバービュー」という演題で講演を開催しました。

参加人数 117人



7月28日

第4回小牧市民病院地域医療支援委員会及び意見交換会

委員会では、選定療養費の改定についてを報告しました。

委員より、広報やホームページ以外での周知方法はないかのご意見をいただき、小牧市以外の広報にも掲載できないか検討していくとお答えしました。また、引き続き行われた意見交換会では、救急外来からの初療の内

容や、今後の継続治療の内容などを情報提供してほしいとのご意見をいただき、本院として、必要な検査結果を印刷してお渡しするようにしていることや、不足のデータがある場合には、お電話いただければ、可能な限り迅速に対応していくとお答えしました。

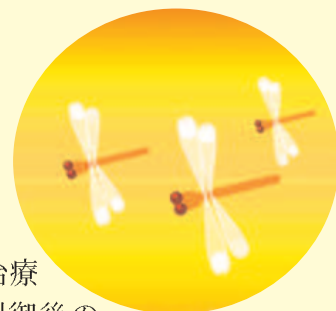
地域連携トピックス

9月29日

第205回尾張臨床懇話会

肝炎治療に用いる抗ウイルス薬の紹介や、
当院における抗ウイルス治療の現状について
を説明させていただきました。

○尾張臨床懇話会
講演 最新の肝炎治療
～ウイルス制御後の
マネージメントも含めて～
講師 舘 佳彦（消化器内科部長）
参加人数 8人



10月27日

第5回小牧市民病院地域医療支援委員会及び意見交換会

委員会では、当院として紹介率、紹介患者
数を増やしていくため、紹介予約枠の増枠や、
紹介日から予約日までの短縮などについてを
報告しました。

委員より、電話で予約を取得しようとした
際に、回線が込み合っている場合があるとの
ご意見をいただいたため、電話回線を増やす
などの検討をしていくとお答えしました。

また、引き続き行われた意見交換会では、
救急外来に受診された患者さんが、筋膜に達
しない傷であった場合に処置で使用するテー

プの張替えを皮膚科にお願いされた場合、皮
膚科ではそのテープを置いていないことがあ
るため、外科に受診するよう勧めてほしいと
のご意見をいただき、創のフォローアップに
ついては、救急外来の各医師に、外科を標榜
している開業医へ受診いただくことを患者さ
んに説明するよう指導しているところであ
るとお答えしました。